

連続企画第二弾

健康格差社会にどう向き合うか

憲法が危ない！ 健康も危ない！

「危ないのは憲法だけじゃない！」の連続企画の第二弾です。「介護保険も危ない！」に続き、私たちの健康や暮らしに影響する重要な課題を連続企画として取り上げていきます。日本の社会保障が急速に変わろうとしており、私たちのいのちと暮らしを脅かしています。その問題点を学び、望ましい安心の社会保障制度のあり方を、市民の皆さんと医療・介護・福祉関係者がつどい、共に考えたいと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

戦後長寿社会を実現し、世界の注目を集めてきた日本。その健康社会の基盤が今、危機に瀕しています。私たちは医療・介護・福祉の現場で、社会的な格差によって健康が阻まれる場面をしばしば目にするようになってきました。

今回の学習会では社会的格差の健康への影響を研究し、健康を守るための提言を発信しているお二人の専門家をお招きしました。現場からの声も交えながら、格差がどのように健康を脅かすのか、健康を守るために健康を権利として位置づけ、社会のシステムを整えていくことの意義などを考えていきます。

講師

近藤克則さん 健康格差になぜ取り組むべきか

橋本英樹さん 健康問題に取り組む上でなぜ政治が大切か

日時

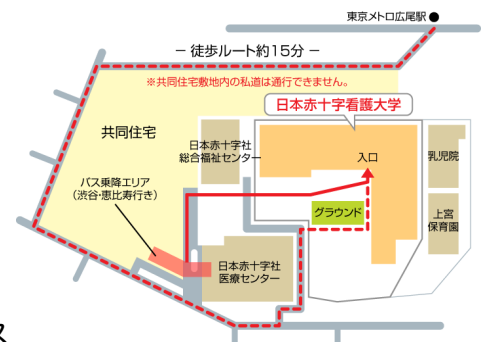
平成28年11月26日（土） 14:00～17:00

会場

日本赤十字看護大学 210教室
(東京都渋谷区広尾4丁目1番3号)

参加費

1000円（学生無料）
(事前申込みは不要です。)



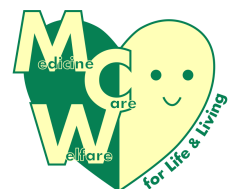
アクセス

- ・東京メトロ日比谷線 広尾駅から徒歩15分
- ・渋谷駅東口から都営バス「学03」系統
- ・恵比寿駅西口から都営バス「学06」系統
いずれも日赤医療センター行終点下車

主催

いのちと暮らしを脅かす
安全保障関連法に反対する医療・介護・福祉関係者の会
HP: heiwa-inochi.sakuraweb.com/
FB: facebook.com/inochi.and.kurashi/

<お問い合わせ先> TEL: 090-3312-7607 FAX: 0470-44-5302



講師プロフィール

近藤克則さん

1983年千葉大学医学部卒業。東京大学医学部付属病院リハビリテーション部医員、船橋二和病院リハビリテーション科科长、2000-2001年University of Kent at Canterbury（イギリス）客員研究員、日本福祉大学教授を経て、2014年より千葉大学予防医学センター教授。

国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター老年学評価研究部長。

著書に「『医療費抑制の時代』を超えて」「『医療クライシス』を超えて」

「『健康格差社会』への処方箋」（近刊）（医学書院）など。

「健康格差社会－何が心と健康を蝕むのか」（医学書院）で社会政策学会賞受賞。

橋本英樹さん

1988年東京大学医学部医学科卒業。内科研修・循環器内科勤務を経て、1999年帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講師、同准教授を経て、2004年東京大学医学部付属病院特任教授（医療経営政策学寄付講座）。2007年東京大学大学院公共健康医学専攻教授（臨床疫学・経済学分野）。2012年同教授（保健社会行動学分野）。

医学博士（東京大学・論文博士）公衆衛生学博士（Harvard School of Public Health）

著書に「社会と健康」川上憲人・橋本英樹・近藤尚己編著（東京大学出版会）

「医療経済学講義」橋本英樹・泉田信之編著（東京大学出版会）

「医療コミュニケーション」藤崎和彦・橋本英樹編著（篠原出版新社）など。

全体討論 15:30~16:50 司会：沢田貴志（港町診療所所長）

近藤克則さん・橋本英樹さんの講演のあと、フロアの皆さんからご意見を頂きながら講師のお二人と議論を深めていきます。FAXでも、質問、ご意見をお寄せください。頂いたご質問のうち主だったものを、当日会場でのディスカッションに反映させていきたいと思っております。

FAX宛先 0470-44-5302

【氏名】

※できるだけお書き下さい。

【ご質問・ご意見】